

旭川 2021年8月1日 入札公告から適用 配点表(機械)

評価項目		評価基準	施工能力評価型						技術提案評価型					
大項目	中項目		2.5億未満 施工能力評価型 I・II		2.5億以上 施工能力評価型 I		非WTO		WTO		非WTO		WTO	
			I型 (難易度 I, II)	I型①	I型①	I型②	S型	A型	S型	A型	S型	A型		
		評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	
技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、主任(監理)技術者あるいは現場代理人として従事	7.0	3.0	3.0	7.0	5.0	※企業の実績と同点数とする	選択	※企業の実績と同点数とする				
		より同種性の高い工事において、担当技術者として従事、または同種性が認められる工事において、主任(監理)技術者あるいは現場代理人として従事	3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	2.5	5.0				
		同種性が認められる工事において、担当技術者として従事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
		80点以上	8.0	3.0	3.0	8.0	5.0	8.0	8.0	8.0				
		76点以上80点未満	6.0	2.3	2.3	6.0	5.0	6.0	6.0	6.0				
		72点以上76点未満	4.0	1.5	1.5	4.0	5.0	4.0	4.0	4.0				
		68点以上72点未満	2.0	0.8	0.8	2.0	5.0	2.0	2.0	2.0				
		65点以上68点未満	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0				
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理技術者又は主任技術者あるいは現場代理人の成績(当該工事と同じ工事区分の任意の1工事)	4.0	8.0	1.5	3.0	1.5	3.0	2.5	5.0	4.0	8.0		
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
主任(監理)技術者の資格 <small>※追加項目(オプション)としては残すが、標準的には評価しない</small>	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5				
CPDへの取組	上記以外	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項 3項目程度まで	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
小計			19.0	19.5	19.5	19.0	13.0	17.0						
施工能力等	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする	
		同種性が認められる工事の実績あり	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		80点以上	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	8.0	8.0	8.0	8.0			
		76点以上80点未満	3.8	3.8	4.5	4.5	3.8	6.0	6.0	6.0	6.0			
		72点以上76点未満	2.5	5.0	2.5	5.0	2.5	6.0	2.5	5.0	4.0	8.0		
		68点以上72点未満	1.3	1.3	1.5	3.0	1.3	6.0	1.3	2.0	2.0	2.0		
		65点以上68点未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)、国土交通省i-Construction大賞(2年度対象)(※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。)	局長表彰(同一事業部門限定) 旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) 北海道開発局i-Con奨励賞 国土交通省i-Construction大賞「国土交通大臣賞」 国土交通省i-Construction大賞「優秀賞」	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
		NETIS登録技術活用 (新技術活用の原則義務化部門は除く)	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する 関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する 新技術を当該工事へ活用しない	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		新技術導入促進(I)型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合 提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合 提案された新技術の活用が有効かつ具体的でない場合	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
情報化施工技術活用 (有意義な技術があれば適用)	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
登録基幹技能者等の配置 (登録基幹技能者等の活用対象工事のみ)	優秀施工者 国土交通大臣表彰 表彰から10年間、技能士は特級、1級、準1級のみの加算	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本支店・営業所 道内本店 道内支店・営業所	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり なし	1.0	2.0	1.0	2.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0			
過去3年度の社会資本の整備・管理に関するボランティア活動又は災害活動	実績等が確認できること ※最大1点までとする	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
災害協定の有無 (当年度用)	防災協定が締結されている	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
小計			18.0	18.0	18.0	18.0	13.0	17.0						
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等		可or不可		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		20.0	
		施工計画	施工計画が適切に記載されている 施工計画が不適切である		可or不可		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		0-25	
		技術提案(段階選抜時)	高い効果が期待できる 効果が期待できる 一般的事項のみの記載となっている		可or不可		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		35-60	
		技術提案(段階選抜後)	高い効果が期待できる 効果が期待できる 一般的事項のみの記載となっている		可or不可		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		70.0	
技術提案	施工上の課題に対し、最も優れた効果が期待できる 施工上の課題に対し、優れた効果が期待できる 施工上の課題に対し、効果が期待できる 不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている 技術提案が不適切である		可or不可		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		70.0			
段階的選抜		十分な監理能力が確認できる 一定の監理能力が期待できる 上記以外		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施				
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	施工計画の説明が適切である 施工計画の説明が不適切である		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施			
		施工計画	提案を十分に理解している 上記以外		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施			
		技術提案に対する理解度	指名停止 文書注意 口頭注意		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施		必要に応じ実施			
減点項目	直近の措置	(-1.5) (-1.5) (-1.5) (-1.0) (-1.5) (-1.0) (-1.5)		必要		必要		必要		必要				
減点項目	修補請求	(-0.5) (-0.5) (-0.5) (-1.0) (-1.0) (-1.0)		必要		必要		必要		必要				
配点合計	技術提案等	技術者	19.0	19.5	19.5	19.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	60.0	70.0	
		企業(地域)	12.0	12.0	14.0	14.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	6.0	7.0	
合計			37.0	37.5	37.5	37.0	57.0	70.0	60.0	70.0				